



自立した自分を目指して フィンランドの家庭科を学ぶ



1月23日、美山中学校全校生徒がフィンランドの中学校で行われている家庭科教育について、現地講師によるオンラインビデオ会議で授業を受けました。

この授業は、教育先進国であるフィンランドの家庭科を学び、自立に向けて必要な考え方を学ぶことを目標としています。

生徒は、フィンランドの家庭科の授業が、ブロック肉の買い方や掃除機の効率的なかけ方など、日常生活に重きをおいた授業方針であることを学びました。

地元企業を知る

関市・山県市合同企業説明会

1月26日、山県高校で、関市・山県市合同企業説明会が開催されました。

この説明会は、山県高校1・2年生を対象に、将来就きたい職業の情報を広め、地元企業への理解を深めることを目的としています。

当日は製造業や福祉業などの民間企業や公務員など、両市の計35団体が各教室に分かれて説明会を開催し、生徒にとって地域産業や将来の職業について考える貴重な機会となりました。



令和4年度全国中学生 人権作文コンテスト表彰



1月26日、伊自良中学校で、令和4年度全国中学生人権作文コンテストの岐阜協議会大会表彰状伝達式と山県市人権擁護委員会会長表彰状授与式が行われました。

このコンテストは、日常や学校生活で得た体験を作文に書くことを通して、人権尊重の大切さや、豊かな人権感覚を身につけることを目的に行っています。コンテストでは、市内生徒13人が入選し、当日は伊自良中学校生徒3人が表彰を受けました。

加藤精工(株) 企業版ふるさと 納税での寄附に感謝状贈呈



1月23日、市役所公室で、加藤精工(株)から企業版ふるさと納税での寄附があり、感謝状を贈呈しました。寄附は昨年度に続き2回目で、頂いた寄附は、大桑城跡遺跡発掘調査事業と公立保育園内装等木質化整備事業に活用します。

加藤社長は「今年20周年を迎える山県市を地元企業として一緒に盛り上げていきたい」と話し、市長は「昨年度に引き続き寄附いただき大変ありがたい」と感謝を述べました。

中日本高速道路(株)と 地域見守りに関する協定締結



1月23日、市役所公室で、中日本高速道路(株)と地域見守りネットワーク事業の実施に関する協定を締結しました。

この協定は、同社の通常業務である、高速道路の点検や巡回中に、市内で高齢者などの異変を発見した際に市へ連絡し、事故などを未然に防ぐことを目的としています。同社の名古屋支社岐阜保全・サービスセンター渡辺真洋所長は「市民の皆さんのお役に立つことができるように普段の業務に尽力していきます」と語りました。

SDGsを身近に体験 SDGsカードゲーム交流会開催



2月2日、山県高校で、一年生を対象にSDGsの地方創生カードゲーム交流会を行いました。

このカードゲームは、持続可能な地域で活躍する人材育成を目的として行われ、SDGsの基本的な知識や持続可能なまちづくりの実現に向けた考え方を楽しく学ぶものです。

生徒は「ゲームのようにまちを良くするには周りとの協力が必要だ」など、新たな気付きを得ていました。

市民の思いを紡ぐ 文集『石楠花』が50周年

2月3日、山県市読書連盟の会員の皆さんが、文集『石楠花』第50号を発行したことを市長に報告しました。この文集は年一回発行しており、山県市読書連盟会員や市内有識者などから寄せられた作品を掲載しています。第50号では、約60人の俳句や随筆など計70作品が一冊にまとめられています。

文集『石楠花』は図書館や市内小中学校、各中央公民館などで読むことができます。



長竹会が作った玄米60kgを 子ども食堂に寄贈



2月13日、市役所公室で、長竹会から玄米30kgを市内2カ所の子ども食堂にそれぞれ寄贈いただけることとなり、贈呈式を行いました。

この玄米は、長竹会が地域活性化のため、耕作放棄地を水田化して栽培したもので、収穫量が少なく、希少なものです。元気の源の一助となればとの思いから、寄贈していただきました。

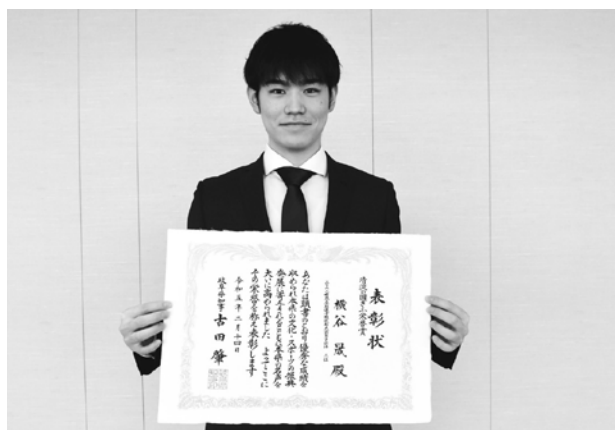
やまっ子食堂の西村莉奈さんは「玄米をいただき大変感謝している。子どもたちに温かいご飯を作りたい」と感謝を述べました。

卓球の横谷晟選手が 清流の国ぎふ栄誉賞受賞

2月14日、岐阜県庁で、令和4年度清流の国ぎふ栄誉賞表彰式が行われ、山県市出身の卓球の横谷晟選手が同賞を受賞しました。

この賞は芸術、スポーツ、産業などさまざまな分野において顕著な成果を挙げるなど、県の名声を高めた個人や団体が表彰されるものです。

横谷選手は、昨年出場した世界卓球選手権成大会での団体3位の成績が認められ、受賞につながりました。横谷選手の今後のさらなる活躍が期待されます。





岐阜大学と脱炭素社会リーダー 育成短期研修プログラム実施

2月中旬から下旬にかけて、岐阜大学と市が連携し、全5回の脱炭素社会リーダー育成短期研修プログラムを実施しました。

このプログラムは、市内をフィールドとしてカーボンニュートラルに関する知識を深め、脱炭素社会実現のためのアイデアを生み出し、脱炭素社会に対応できる人材育成を目的としたものです。

2月16日のプログラム2日目では、学生と民間事業者、市職員などがカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を体験した他、山県バスターミナルや市内にある地域資源を中心に視察を行いました。



2月28日のプログラム最終日では、「山県市の魅力を生かし、脱炭素と地域課題の同時解決を図ろう」をテーマに、学生と民間事業者、市職員が議論を交わしました。

学生は「自然の魅力を体感でき、脱炭素を楽しく学ぶ体験型ワークショップを開催してみてもどうか」など、これまでのプログラムで学んだことを踏まえ、多種多様なアイデアを提案しました。最後には、市長に対し意見発表を行い、プログラム達成を評した修了証の授与が行われました。

市長は「次世代を担う皆さんの意見を、今後の市政に反映していきたい」と語りました。

自然は遊び方が無限大！ 炭ペンお絵かき&むしっこハウスづくり



2月20日、みやま保育園で、園児25人が木の枝や竹を使った自然体験プログラムを行いました。

このプログラムは、身近にある自然を生かし、子どもたちの主体性を育む遊び場づくりに発展させていくことを目的として実施されました。当日はたき火で枝の先端をあぶって炭ペンを作り、画用紙にお絵かきをしたり、筒状の竹に木の枝や葉っぱを詰め、小さな生き物が隠れられるむしっこハウスを作ったりしました。

園児は「木の枝でお絵かきできるのが面白い」と自然とのふれ合いを楽しみました。

大桑城跡で林野火災を 想定した訓練を実施

2月20日、古城山山頂付近の大桑城跡で、岐阜市消防本部（主催）と山県市（協力）が合同で、林野火災を想定した訓練を実施しました。

訓練では、ヘリコプターによる負傷者の救出や、椿野はじかみ林道登山口から模擬天守付近まで、約40本のホースを結合しての放水やドローンを使った情報収集、避難者の誘導と情報伝達などを行いました。

郷土の貴重な歴史遺産である大桑城跡が、世代を超えて未来へ確実に守り継がれていくことを願います。



山県市さくらカンパニー 認定事業所決定

3月8日、市役所公室で、山県市さくらカンパニー認定式を行いました。

山県市さくらカンパニーは、女性活躍推進事業の一環として、ワーク・ライフ・バランス推進や女性活躍推進に積極的な事業者をさくらステップ3〜1に認定する制度です。今回が4回目の認定で、新たに6社を認定しました。

仕事も子育てもいきいきと両立できる山県市の実現に向けて、今後も継続して認定を行っていきます。

企画画財政課 Tel22-6825



認定事業所

■さくらステップ3

- ・山県市商工会
- ・美山建設(株)
- ・(株)大雅
- ・(福)同朋会
- ・(株)三洋組



■さくらステップ1

- ・双葉ボビン(株)

認定メリット

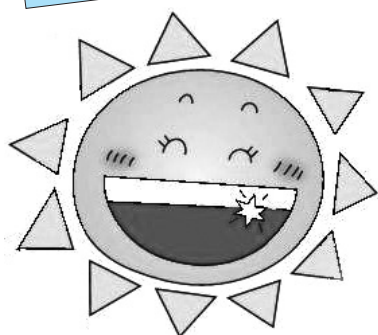
- ・山県市中小企業等活性化補助金の補助率が優遇されます
- ※9ページ参照
- ・各種認定グッズを贈呈します
- ・求人に活用できます
- ・広報紙などで積極的にPRします

現在広報やまがたでは、さくらカンパニーに認定された企業の取り組みを紹介するコラム「きらつと輝く!さくらカンパニー」を掲載しています。

誰もが輝ける山県市を目指して、活動の輪を広げていきましょう。

新連載

教えて!元気君 ～健康のひけつ～



健康山県21のイメージキャラクター元気君。健康づくりのプロで市民の健康を願っています。そんな元気君が健康の秘訣を教えてください。

健康介護課 Tel22-6838

今月は健康介護課からのお知らせだよ!

「まちの保健室」始まります!

まちの保健室では誰でも無料で健康チェック(体脂肪率や筋肉量測定、血管年齢、野菜摂取量など)や健康相談を受けることができます。

今年度は月に1、2回、市内の商業施設や各地域の施設を巡回します。この機会に自分の健康状態に目を向けてみませんか。体のこと、健診結果のこと、食事や運動のこと、生活のことなど、どんなささいなことでも保健師が話を伺います。気軽に相談に来てください。定期開催の他、開催希望の団体やグループには日程や場所の相談に応じます。健康介護課まで連絡してください。詳しい日時や場所は30ページのくらしのカレンダーや市HPを確認してください。

▼開催予定場所

- ・山県市社会福祉協議会
- ・平和堂高富店
- ・高富児童館
- ・美山老人福祉センター
- ・伊自良コミュニティセンター



この旗が目印です!